

令和7年度事業報告書

公益財団法人日本チャリティ協会

目 次

I	公益事業関係	2
1	障害者関係事業	2
	(1) 第40回東京都障害者総合美術展	2
	(2) 東京都障害者休養ホーム事業	2
	(3) 令和7年度「障害者週間」記念の集い・ふれあいフェスティバル	3
	(4) 第42回障害者のためのふれあいコンサート	4
	(5) 第40期パラアートスクール（障害者のカルチャースクール）	5
	(6) パラアート国際交流事業	6
	(7) 明治神宮例祭奉祝「奉納第82回全日本力士選士権大会」への招待事業	7
2	高齢者関係事業	8
	(1) 第22回クプナ・フラ・フェスティバル	8
	(2) 第29回シニアコーラス・TOKYO・フェスティバル	8
	(3) 高齢者のはつらつカラオケコンクール	9
II	共催・後援・協力事業	9
	(1) 第59回スポーツの集い	9
	(2) 第60回東京都老人クラブ芸能大会	10
III	東京都福祉サービス第三者評価	10
IV	法人の運営	11
1	理事会・評議員会等	11
2	後援会等	12
3	法人の運営体制の充実を図る為の取り組み	13
	事業報告における付属明細書	14

1 障害者関係事業

(1) 第 40 回東京都障害者総合美術展

障害者が日頃からの研鑽を積み重ねて創作した作品を発表する機会を通じて、障害者が持つ芸術文化的能力を広く社会に披露し、その能力を基にした自立と社会参加を促進することを目的に毎年開催している。

また、表彰式には高円宮妃殿下もご列席され、お時間の許す限り展示作品をご観覧された。

主 催：東京都

主 管：日本チャリティ協会

会 期：令和 7 年 8 月 20 日（水）から 8 月 24 日（月）西武渋谷店催事場

内 容：募集方法：公募（都内在住の障害者）

募集内容：絵画・造形・書・写真

応募点数：絵画 531 点・造形 91 点・書 57 点・写真 24 点 計 703 点
(前年度 計 653 点)

入選点数：絵画 145 点・造形 29 点・書 17 点・写真 9 点 計 200 点

審査員：建畠哲、友永詔三、堀吉光、板見浩史、八代英太(代理：瀬川乙女)、小泉孝夫

審査会：入選作品写真審査：7 月 7 日(月) 都庁会議室

入賞作品審査会：8 月 18 日(月) 東京都障害者福祉会館

(2) 東京都障害者休養ホーム事業

障害者のある方々の保養等を目的として、東京都指定の宿泊施設を利用した際、その宿泊利用料の一部を助成し、障害者及び介助者の豊かで生きがいのある生活を実現することを目的にした事業で、この事業の実施に係る業務を東京都からの委託を受けて実施した。

主 管：東京都

管 理：日本チャリティ協会

受託期間：令和 7 年 4 月から令和 8 年 3 月まで

利用対象：都内在住の障害者及び付添者（都内在住に限らない）

受託内容：休養ホームに関する問合せ対応、利用申込受付、利用券発券処理

施設利用料助成金精算業務

年間利用者

区分		令和 7 年度	令和 6 年度	令和 5 年度
利用者数（泊数）		7,630 名	7,310 名	6,660 名
内 訳	身体障害	3,010 名	2,897 名	2,954 名
	知的障害	3,219 名	3,175 名	2,657 名
	精神障害	1,401 名	1,238 名	1,049 名

指定施設：（数字）は都指定施設の数 合計 33 施設（前年度 29 施設）

東北方面 （2）	湖畔のホテルクオレ、そば庵しづか亭
常磐・関越方面 （10）	いこいの村涸沼、亀の井ホテル大洗、亀の井ホテル潮来、なかが和苑、湯守田中屋、亀の井ホテル喜連川、まついだ森の家、森秋旅館、ホテル・エフ、ニュー・グリーンピア津南
房総方面 （2）	亀の井ホテル鴨川、亀の井ホテル九十九里
中央線・信州方面 （8）	アジュール竹芝、奥多摩の風はとのす荘、ゆの宿和どう、ライフクオリティ・カーザ、シャトレーゼホテル石和、富士レークホテル、ペンションさゆ〜る、旅館はくら
伊豆・箱根方面 （7）	すばる、八丈ビューホテル、箱根高原ホテル、亀の井ホテル熱海（本館・別館）、埼玉県伊豆潮風館、ウェルカム・インサニーステップ、亀の井ホテル焼津
東海方面 （2）	亀の井ホテル知多美浜、サポートイン南知多
関西方面 （2）	ホテルビナリオ嵯峨嵐山、亀の井ホテル福井

（3） 令和 7 年度「障害者週間」記念の集い・ふれあいフェスティバル

昭和 56 年に開催した「国際障害者年ふれあいフェスティバル」を契機にして、障害者を取り巻く問題について、都民の理解と認識を深めることを目的に、毎年開催している。

主 催：東京都、日本チャリティ協会

後 援：厚生労働省

期 日：令和 7 年 12 月 8 日（月）

場 所：東京都庁 第一本庁舎5階 大会議場

時 間：開場:12:00 開演:13:00 閉会:15:30

① 記念式典

・挨拶：東京都福祉局理事 船尾 誠

- ・祝辞：東京都議会厚生委員会委員長 浜中 のりかた
- ・表彰：障害者自立生活者(1名)自立支援功労者(3名)
- ・謝辞：受賞者代表 秋元妙美

② ふれあいステージ(13:55～15:30)

- ・楽器演奏：東京都立永福学園高等部 音楽部
- ・ダンス：MORI KO JAPAN
- ・ふれあいトークショー：ゲスト 佐藤弘道(医学博士、体操教室主催、タレント)
- ・ミニライブ：ゲスト 井上あずみ(歌手)&ゆうゆ(歌手)

③ 参加者 198 名(うち観覧者 104 名)

□2025年ふれあいフェスティバル 参加者報告				
	2025年	2024年	2023年	2022年
申込観客と招待状持参人数	82	89	47	
当日	22	5	21	
観覧者合計	104	94	68	47
スタッフ・出演者	73	84	77	
来賓議員	8	10	9	
来賓団体	9	13	13	
受賞者	4	5	7	
関係者合計	94	112	106	115
参加者合計	198	206	174	162

(4) 第42回障害者のためのふれあいコンサート

障害者やその家族などを対象に、オーケストラの演奏によるクラシック音楽等を鑑賞する機会を提供することによって、障害者の積極的な社会参加を促進し、豊かで生きがいのある暮らしを実現することを目的として、毎年開催している。

主 催：東京都、日本チャリティ協会、東京都交響楽団

期 日：令和7年2月28日(日)

場 所：杉並公会堂 大ホール

開 催：

第1部 ～森公美子スペシャルステージ～

第2部 ～都響シンフォニックステージ～

指揮 横山奏 管弦楽団 東京都交響楽団

① 応募者数及び当日来場者数

応募者数 1,654 名（うち障害者 583 名）

□応募内訳				
	申込数	障害者数	同行者数	健常者のみの 応募数
2026年	1,654	583	620	451
前年比	127.13	115.22	114.60	177.56
2025年	1,301	506	541	254
2024年	893	335	347	211
2023年	1,074	448	491	135

会場席数 1,158 席 抽選でご招待 1,121 名 来場者 841 名

他、動向

- ・新宿文化会館の日程調整できず、杉並公会堂で開催
- ・自由席運営（車椅子席、移乗者席等、部分的に指定席運営）
- ・ゲスト 森公美子さん 応募者大幅増で抽選対応

（5）第 40 期パラアートスクール

障害者の自立と社会参加への支援及び障害者が持つ芸術文化に関する潜在的能力の開発と育成を目的に、各界より実績のある作家を講師として実施した。また、豊島区の「としまアート教室」について、運営を受託された。

主 催：日本チャリティ協会

期 日：令和 7 年 4 月から令和 8 年 3 月まで（実技指導 年 18 回）

場 所：東京都障害者福祉会館

内 容：全 4 コース／A マンガイラスト・絵画、B 絵画・造形、
C 書道、D デジタルイラスト

講 師：A コース タナカミノル、八木道夫 B コース 三石玄、友永詔三

C コース 石渡鷺遊、堀吉光 D コース タバタサトコ

○開講式

令和 7 年 4 月 6 日（日）に開催

受講者：

コース	第 38 期	第 39 期	第 40 期
A マンガイラスト・絵画	19 名	19 名	24 名
B 絵画・造形	15 名	16 名	21 名

C 書道	11 名	10 名	9 名
D デジタルイラスト			10 名
合計	45 名	45 名	64 名

○作品展

期 日： 令和 8 年 4 月 10（金）から 12 日（日）まで

場 所： エコギャラリー新宿

内 容： パラアートスクール生徒の作品を展示

○修了式

期 日： 令和 8 年 3 月 15 日（日）

時 間： 10 時 30 分～12 時 00 分

場 所： 東京都障害者福祉会館

内 容： 主催者挨拶（日本チャリティ協会常務理事）

修了証書の授与

修了証書授与者

コース	第 38 期	第 39 期	第 40 期
A マンガイラスト・絵画	18 名	17 名	21 名
B 絵画・造形	15 名	15 名	18 名
C 書道	9 名	9 名	9 名
D デジタルイラスト			9 名
合 計	42 名	41 名	57 名

皆勤賞授与：12 名

○豊島区「としまアート教室」の運営

期 日： 令和 7 年 9 月から令和 8 年 2 月まで

内 容： 豊島区障害者施設を利用した 10 回の連続講座に講師を派遣。12 名の受講者が各自で決めたテーマに沿って制作、作品は豊島区主催の第 19 回美術展「ときめき創造展」に展示された。

（6）パラアート国際交流事業

目的： 障害者の芸術文化の環境整備と活動支援を推進し、多様な社会へ繋げていきます。第 12 回目を迎える「2025 パラアート TOKYO」は国際交流展の作品部門にデジタルイラストを加えてより多くの障害者アーティストに向けて参加を促し、専門講師によるワークショップは絵画、造形、デジタルイラストを数回にわたり学びの機会を提供し、共存共栄の社会へ向けて開催しました。

1. 「2025 パラアート TOKYO」第 12 回国際交流展

(開催日時) 令和7年10月1日(水)～5日(日) 会期5日間 10時～18時

(開催場所) 東京芸術劇場ギャラリー(池袋)

(来場者数) 延べ 1313人

(作品展示) 234点(応募数1097点、国内より951点、海外146点、パラアート関西ガンバ大阪展より5点展示)

絵画作品 日本124点 児童14点 海外37点 児童12点

書作品 日本13点 海外14点(書画含) 造形作品13

(参加国) 21か国1地域

表彰式 令和7年10月1日(水) 16時

表彰式は、入選作家や多くの関係者、都議員が主席して盛大に開催された。

パラアートジュニア賞2名、パラアート賞15名、パラアート企業賞8名

にパラアート賞を授与した。

2. <バーチャルギャラリー>の開設

例年同様、パラアートを世界へ発信し、会期終了後も全作品の鑑賞ができるよう、インターネット上に2025バーチャルギャラリーを開設した。世界中、多くの方々にパラアート作品の魅力を伝えることができた。(継続公開中)

3. <パラアート国際交流事業の一環としての2025パラアートワークショップ>

ワークショップでの講習は活動環境を提供し、専門員による指導は向上、共感、交流と認識を高める学びの機会を通し社会との接点を見出し共存共生の社会へ繋げることを可能とします。

・ 絵画 開催日時 2025年11月16日 13時30分～15時

開催場所 高田馬場福祉作業所

内容 絵を描いてみよう パラアートスクール講師

参加人数 利用者 計15名

・ 絵画 開催日時 2025年10月5日 10時30分～12時

開催場所 東京都障害者福祉会館

内容 デジタルイラスト 絵画、造形 パラアートスクール講師

参加人数 会場 計15名(先着順)

11月18日、12月7日、12月16日開催

<報告記録>

1. 図 録 2025パラアート事業報告も兼ねて11月に500冊発刊
を出展者、助成、後援、協力他関係者に配布

(7) 明治神宮奉納「第82回全日本力士選士権大会」招待事業

相撲力士の取組を観戦する機会に恵まれない障害者を招き、伝統と技の世界を体験させたいとの主催者の意向を受けて、全日本力士選士権大会の招待事業を毎年実施している。

主 催： 明治神宮

協 力： 日本相撲協会、日本チャリティ協会（昭和 56 年第 41 回から協力）

期 日： 令和 7 年 1 0 月 6 日（月）

時 間： 1 0 時開始

場 所： 両国国技館

来場者： 5 8 2 名

2 高齢者関係事業

（1）第 22 回クプナ・フラ・フェスティバル

中高年者グループによる質の高いフラダンスの発表の場を提供し、中高年者の文化活動の促進と親睦及び健康の維持増進等を図り、明るく元気な高齢社会づくりに寄与することを目的に毎年開催している。

主 催：日本チャリティ協会

後 援：ハワイ州観光局、東京都、全国老人クラブ連合会、東京都老人クラブ連合会（予定）

期 日：令和 7 年 6 月

場 所：未 定

令和 7 年度は、感染症拡大の後遺症による参加グループの活動自粛等の影響を鑑み、昨年度に引き続き開催中止とした。

（2）第 29 回シニアコーラス T O K Y O フェスティバル

高齢者が日頃積み重ねたコーラス活動の成果を競うとともに、参加者相互の理解と親睦を深めることによって高齢者の積極的な社会参加を促進し、より豊かで充実した文化生活の実現と高齢者福祉の増進を図ることを目的にして毎年開催している。

主 催：日本チャリティ協会 東京都老人クラブ連合会

後 援：厚生労働省 文部科学省 東京都 全国老人クラブ連合会

期 日：令和 7 年 11 月 25 日（火）

時 間：午前 11 時 30 分から 6 時まで

場 所：東京オペラシティコンサートホール

審 査 員：岸信介、安田祥子、小六禮次郎、宇佐美瑠璃、樋口達哉

参 加：全 40 団体（エントリー 36 団体、特別枠出演 3 団体、特別出演 1 団体）

（3）高齢者のためのはつらつカラオケコンクール

高齢者が日頃から積み重ねた歌自慢の成果を競うとともに、参加者相互の理解と親睦を深め、生きがいと積極的な社会参加を促し、豊かで充実した文化生活が送ることのできる高齢者福祉の増進を図ることを目的に毎年開催している。

第 176 回 世田谷区大会

主 催： 日本チャリティ協会、世田谷区高齢者クラブ連合会

後 援： 東京都老人クラブ連合会

期 日： 令和 7 年 10 月 7 日（火）

時 間： 午前 11 時 45 分から午後 3 時 30 分

場 所： 烏山区民会館ホール

参 加： 52 組 来場者 約 400 名

第 177 回 大田区大会

主 催： 日本チャリティ協会、大田区シニアクラブ連合会

後 援： 東京都老人クラブ連合会

期 日： 令和 7 年 10 月 9 日（木）

時 間： 午前 12 時 00 分から午後 3 時 30 分

場 所： 大田区民ホール アプリコ大ホール

参 加： 62 組 来場者 約 600 名

Ⅱ 共催・後援・協力事業

（1）第 26 回東京都障害者スポーツ大会「スポーツの集い（第 59 回）」

東京都障害者スポーツ大会の競技部門の 1 つとして、在宅及び施設等を利用して重度の知的障害者（児）とその家族や関係者を対象に、スポーツに触れる機会を提供することを目的として開催される「スポーツの集い」において、例年アトラクションの企画運営の協力を行う。来場型とリモート型の併用開催がコロナ禍を経て固定化。イベント全体の企画運営等業務委託の指名競争入札では不採用となったが、アトラクション企画運営と絵画展示、プログラム製作を、落札業者エクスアドメディアより受託した。

主 催：東京都障害者スポーツ協会、東京都、NHK厚生文化事業団
後 援：特別区長会 東京都市長会 東京都町村会 日本チャリティ協会他予定
期 日：令和7年12月11日（木）
時 間：午前10時30分から15時30分まで
場 所：駒沢オリンピック公園総合運動場 屋内競技場
内 容：来場型：22団体と個人参加1人 リモート型：11団体
動画視聴型：6団体程度

業務受託 アトラクションのプロデュース プログラム製作

「スポーツの集い」絵画 会場展示

- ・盆パラボクス 健康向上企画 鈴木孝一氏
- ・早稲田大学応援部
吹奏楽団の演奏と応援部スペシャルステージ
- ・バンド演奏 赤坂ベンチャーズ

（2）第60回東京都老人クラブ芸能大会

各地区老人クラブ（区市町村単位）が健康増進及び会員相互の交流と親睦のために取り組んでいる。

主 催：東京都老人クラブ連合会
後 援：日本チャリティ協会他
期 日：令和7年9月17日（水）
場 所：文京シビックセンター大ホール

Ⅲ 東京都福祉サービス第三者評価

高齢者、障害者福祉施設等のサービスを、事業者・利用者いずれにも利害関係のない第三者の立場から、専門的かつ客観的に、サービスの内容や質、マネジメントの力などを評価する事業であり、協会所属の評価者により幅広い福祉サービスの評価を実施、東京都福祉サービス評価推進機構を通じて、利用者への確かな情報を提供している。

評価実施件数：40件（前年度36件）

《福祉サービス分野別内訳》

高齢者福祉サービス分野	9件
障害者（児）サービス分野	27件
児童・生活保護等のサービス分野	3件

利用者調査

1 件

評価従事評価者数：16 名（協会登録：主たる評価者 12 名、従たる評価者 4 名）

IV 法人の運営

1 理事会・評議員会等

（1）理事会の開催

①令和 7 年度第 1 回理事会

期 日：令和 7 年 5 月 22 日（木）

場 所：株式会社東京在宅サービス新宿本社 会議室

内 容：

議事案件

第 1 号議案 令和 6 年度事業報告（案）について

第 2 号議案 令和 6 年度決算報告（案）について

第 3 号議案 令和 7 年度定時評議員会開催について

協議報告案件

事務局業務執行報告について 他

② 令和 7 年度第 2 回理事会

期 日：令和 7 年 6 月 23 日（月）

場 所：書面による会議

内 容：

議事案件

第 1 号議案 会長（代表理事）、副会長、常務理事選任について

③ 令和 7 年度第 3 回理事会

期 日：令和 8 年 3 月 18 日（水）

場 所：株式会社東京在宅サービス新宿本社 会議室

内 容：

議事案件

第 1 号議案 令和 8 年度事業計画（案）について

第 2 号議案 令和 8 年度事業予算（案）について

（2）評議員会

①定時評議員会

期 日：令和 7 年 6 月 17 日（火）

場 所：株式会社東京在宅サービス新宿本社 会議室

内 容：

- 第1号議案 令和6年度決算報告（案）について
 第2号議案 定款第32条（役員の任期）への増員理事任期の項追加について
 第3号議案 任期満了に伴う理事、監事改選及び新理事の選任について
 第4号議案 任期満了に伴う評議員改選及び新評議員の選任について

（3）監事監査の実施

期 日：令和7年5月8日（木）
 場 所：監事を個別訪問して行う
 内 容：令和6年度決算審査について

2 後援会等（通年）

協会の活動を支える後援会等の充実を図り、障害者・高齢者ならびに福祉関係者やボランティアを音楽、芸能スポーツ等の催物に招待、会員の拡充につなげた。

（1）「チャリティ・ニュース」の発行 116号 600部

区分	報 告	特 集
2025-Vol. 116	会長挨拶	第40回東京都障害者総合美術展開催 パラアート大阪万博での活動他

「チャリティ・ニュース」の発行 117号 600部

区分	報 告	特 集
2026-Vol. 117	会長、副会長年頭挨拶	2025 パラアート TOKYO 第12回国際交流展開催 パラアートサポーター企業活動紹介 第45回障害者のためのふれあいコンサート開催他

- （2）後援会会員 2名（令和8年3月31日現在数）
 賛助会員 3名（令和8年3月31日現在数）

（3）ボランティアの協力支援（通年）

本協会が事業を推進していく上において、ボランティアの協力は欠かせないものとなっており、その組織化を図っている。

主な分類：協会のイベント参加者並びに企業OB、シニアボランティアクラブ、
自薦の有志

参加事業：障害者総合美術展、パラアート展、スクールなどの各種イベント・教室の受付、会場整理、アンケート調査発送、ビデオ・写真撮影 等

3 法人の運営体制の充実を図る為の取り組み

(1) 事業における効率化への取り組み

人手不足に関する課題や、社会の働き方改革の流れを鑑みた継続的な業務の効率化の取り組み。

- ・取引先との意思疎通とスピードの向上、移動時間の削減等による業務の効率化を意図したオンラインミーティングの活用

例：取引先とのオンラインによる定例ミーティングの開催、地方の団体とのオンラインによるミーティングの設定

- ・業務フローの見直しによる IT 化の推進

例：休養ホーム事業での WEB 受付システムや WEB ベース請求業務プロセスの導入

(2) 業務実効性担保に関する取り組み

外部の専門家の助言や、専門機関からの支援

- ・会計、公益法人運営一般： 大光監査法人
- ・税務一般： 大光税理士法人
- ・給与・社会保険関連： 茂木会計事務所
- ・労務： 澤上社会保険労務士事務所（適宜）

事業報告における附属明細書

令和7年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書に記載する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、これを作成しない。